



4期目がスタートする栗市長。これから推進していく取り組みの展望、思い描く市の未来など、熱い思いを聞きました。

「4期目がスタートしますね！3回連続で無投票ということになりました。」
 町長時代から4期目、無投票で当選させていただきました。感謝に堪えないことですし、これまで以上の責任の重さを受け止めています。市民の皆さんからの期待に応えられるよう、更なる市の発展に全力を尽くしていきます。

**まちづくりを支える柱 その1
市民が主役のまちづくり**

「市民活動への支援に長年取り組まれてきましたが。」

これまでの3期12年で市民協働のまちづくりを掲げてきました。その根底には、野々市市は市民の皆さんと一緒に創り、育んでいくまちでありたいという思いがあります。いつまでも人生の主役となり、生涯にわたって楽しく学べ、さまざまな活動にチャレンジできる、キャンパスのようなまちを目指していきたいです。

野々市市のまちづくりを支える3本の柱

**まちづくりを支える柱 その2
野々市らしさの発信**

「昨年発表された調査結果で、女性の平均寿命が全国5位、男性も県内1位となり、「長寿」のまちというイメージも浸透してきました。」
 市民の皆さんが生き生きと生活されている賜物です。今後も全ての世代が元気で健康に過ごせるような舞台づくりに取り組んでいきます。お互いが心を通わせ、支えあっていけるまちにしていきたいと思っています。
「市の魅力を伝えるものには特産品がありますね。」

「野々市といえばこれー」と多くの人に市の魅力を知っていただけるよう取り組んでいきたいと思えます。昨年度は野々市ブランド認定制度もスタートすることができました。野々市を発信したい、と意欲を持っていただけるように野々市ブランドの価値も高めていきたいなと思います。まだまだ知られていないモノや、取り組みに光を当てることができたらいいですね。」

「これから野々市で何かしたいと考えている人も多いのではないのでしょうか。」

新たな野々市らしさを考えたときに、産業の創出や中小企業の活性化も重要になってきます。「にぎわいの里のいちカミーン」内の民間商業施設、「101NONOCH」のシェアオフィスやシェアキッチンを活用して、野々市で新しいことを始めたい人を支援していきたいですね。地域経済を支える舞台づくりから野々市らしさが生まれ、さらに市の魅力に繋がればいいなと思います。

**まちづくりを支える柱 その3
集いとにぎわいの創出**

「中央地区整備事業が完了しましたが、今後の展望をお聞かせください。」

「学びの杜のいちカミーン」と「にぎわいの里のいちカミーン」の整備をもって事業は完了しましたが、人々が集い、行き交う、にぎわいの創出はこれからだと思っています。その一つとして、市民の皆さんと一緒にまちづくりを行う「北国街道にぎわい創出プ

ロジェクト」に取り組んでいます。北国街道でのにぎわい創出が市全体のにぎわいの原動力となるよう進めていきます。

「人口の増加に伴い、住環境の整備が求められているかと思えます。」

現在、西部中央と中林両地区で区画整理事業を行っています。それぞれが特色を持った地域づくりを目指しています。住宅地の創出だけではなく、「住むなら野々市」これからも住み続けたい」と言っていただけのように、しっかりと整備を進めていきます。

「最後に、市民の皆さんへメッセージをお願いします。」

いつも心に、この野々市市の主役は市民の皆さんであるという思いがあります。市民の皆さん一人ひとりが、活躍できるまちづくりをさらに進めていきたいと思っています。

時代は、平成から令和へ変わるといふ大きな節目を迎えました。この節目の年に、新たなスタートを切ることができ、身が引き締まる思いです。野々市に住むことが大きな誇りとなり、ここに住み続けたい、さらにもっと野々

栗市長プロフィール

生年月日 昭和 35 年 6 月 11 日 (58 歳)
 血液型 O 型

日本大学法学部を卒業。参議院議員秘書、民間企業を経て、平成 3 年に石川県議会議員選挙で初当選。平成 19 年に野々市町長に初当選。平成 31 年に無投票での 4 期目の当選を果たす。任期は、令和元年 6 月 10 日から令和 5 年 6 月 9 日までの 4 年間。